



## 平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月14日

上場会社名 株式会社システム情報 上場取引所 東  
 コード番号 3677 URL http://www.sysj.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 隆司  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 生井 秀人 TEL 03-5547-5705  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成28年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,783	21.4	193	54.5	193	56.3	136	68.9
28年9月期第1四半期	1,468	16.1	125	35.5	124	34.7	80	41.9

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 163百万円 (78.8%) 28年9月期第1四半期 91百万円 (48.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	23.23	23.11
28年9月期第1四半期	13.81	13.69

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第1四半期	2,794	1,883	67.4	319.68
28年9月期	2,742	1,849	67.5	314.13

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 1,883百万円 28年9月期 1,849百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	-	0.00	-	22.00	22.00
29年9月期	-	-	-	-	-
29年9月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成29年9月期における配当予想額は現時点で未定であります。

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,550	13.1	310	3.2	310	4.0	214	8.0	36.32
通期	7,000	6.8	610	3.6	610	3.1	421	1.1	71.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期1Q	5,892,800株	28年9月期	5,888,600株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	-株	28年9月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期1Q	5,891,365株	28年9月期1Q	5,865,374株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和を下支えとした企業収益・雇用情勢の改善が継続し、12月には景気の基調判断が上方修正されるなど、緩やかな回復基調が継続しております。

一方、世界経済は、利上げやトランプ新大統領の政策方針による米国経済の行方、中国を始めとした新興国経済の低迷懸念、英国のEU離脱問題など、不透明要因が数多く存在しております。

当社グループが属する情報サービス産業においては、企業のICT投資が底堅く推移しております。第3のプラットフォーム（モビリティ、ソーシャル技術、ビッグデータ、クラウド）等の最先端技術によって、IoT（Internet of Things）、ロボット、人工知能（AI）、次世代セキュリティソリューション等の技術革新が、従来にないスピードで進行しており、その市場規模は国内ICT市場の3分の1以上を占めるとも言われております。

このような環境下、当社は、当期よりソリューション本部を新たに立ち上げ、AIを活用したコグニティブサービス、情報セキュリティサービス、クラウドサービスを3本柱として、新規ビジネスへの取り組みを本格的に開始いたしました。

一例といたしまして、日本アイ・ビー・エム株式会社が展開する「IBM Watson IoT Platform パートナーエコシステム」への参画を決定いたしました。人工知能（AI）ビジネスは、2015年度の国内市場規模1,500億円が、2020年度には1兆20億円の、2030年度には2015年度比14.1倍の2兆1,200億円に拡大するものと予測されております。

当社は、様々な企業（製造業、医療／ヘルスケア業など）との協業を通じたIoTシステムと連携する新しいサービスの提供を開始、現在複数の開発案件を受注しております。また、情報セキュリティサービスにおいては、セキュリティコンサルティングに関するプロジェクトが始動し、クラウドサービスにおいては、主力クラウドサービスのパートナー認定の諸条件をクリアすべく取り組んでおります。

一方、既存ビジネスにおいては、金融機関を始めとした大手企業によるシステム構築・更改案件の増加が継続しており、当社グループは、最高位のレベル5を達成しているCMMI<sup>®</sup>（注1）や我が国トップクラスの取得率を誇るPMP<sup>®</sup>（注2）をベースとした当社独自のシステム開発標準（SICP（注3））に基づくプロジェクト管理の徹底を全社的に推進してまいりました。また、当社CMMIコンサルティング室長が、日本人で8人目となるCMMI高成熟度リードアプレンティス資格（CMMI最高位レベルの審査員資格）を取得し、最高位のレベル5までの評価が可能となりました。今後、CMMIコンサルティングビジネスの拡大が見込まれるとともに、そこを切り口とした新規エンドユーザの開拓に注力してまいります。

さらに、人材不足解消に向けた取組みとして、パートナー企業との連携強化や、即戦力としての中途採用にも注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,783,001千円（前年同期比21.4%増）、営業利益193,741千円（同54.5%増）、経常利益193,954千円（同56.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益136,840千円（同68.9%増）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

（注1）CMMI<sup>®</sup>（Capability Maturity Model Integration の略）

米国カーネギーメロン大学（CMU）のソフトウェア工学研究所（SEI）が開発したソフトウェア開発プロセスの能力成熟度モデルであり、組織のプロセス能力（成熟度）を5段階で評価し継続的な改善を促す、体系的なプロセス改善のためのモデルであります。現在ではソフトウェア開発能力を測る国際標準的な指標となっております。

（注2）PMP<sup>®</sup>（Project Management Professional の略）

米国PMI（Project Management Institute）が認定するプロジェクトマネジメントに関する資格であります。PMIが発行する知識体系ガイド（PMBOK<sup>®</sup> = A Guide to Project Management Body of Knowledge）に基づくプロジェクトマネジメントエリアに関する知識と理解度をはかることをその目的としております。現時点ではプロジェクトマネジメントに関する国際標準的な資格となっております。

（注3）SICP（SI&C System Integration Control Processの略）

国際資格／標準であるPMP<sup>®</sup>、CMMI<sup>®</sup>をベースに、35年超に及ぶ当社の開発ノウハウを注入して策定した当社独自の開発標準であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて52,161千円増加し、2,794,444千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて18,044千円増加し、2,043,399千円となりました。これは主に、売掛金が161,731千円減少したものの、現金及び預金が86,652千円、仕掛品が64,410千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて34,117千円増加し、751,045千円となりました。これは主に、投資その他の資産が45,538千円増加したこと等によるものであります。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比べて18,138千円増加し、910,617千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて7,352千円増加し、840,998千円となりました。これは主に、未払法人税等が26,716千円減少したものの、買掛金が16,024千円、賞与引当金が22,966千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて10,785千円増加し、69,618千円となりました。これは主に、その他の固定負債が11,403千円増加したこと等によるものであります。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて34,022千円増加し、1,883,827千円となりました。これは主に、利益剰余金が7,291千円、その他有価証券評価差額金が26,573千円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の業績予想につきましては、平成28年11月14日に公表いたしました平成29年9月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の見直しの必要性が生じた場合は、速やかに「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当事業年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	890,670	977,323
売掛金	1,040,978	879,246
仕掛品	41,197	105,608
その他	52,508	81,221
流動資産合計	2,025,355	2,043,399
固定資産		
有形固定資産	68,254	62,693
無形固定資産		
のれん	124,732	120,775
その他	24,317	22,414
無形固定資産合計	149,050	143,189
投資その他の資産		
その他	505,179	550,628
貸倒引当金	△5,556	△5,466
投資その他の資産合計	499,623	545,162
固定資産合計	716,928	751,045
資産合計	2,742,283	2,794,444
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	262,640	278,664
短期借入金	110,000	110,000
未払法人税等	91,954	65,238
賞与引当金	40,732	63,698
その他	328,318	323,396
流動負債合計	833,646	840,998
固定負債		
退職給付に係る負債	14,634	14,016
その他	44,198	55,602
固定負債合計	58,833	69,618
負債合計	892,479	910,617
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	302,068	302,147
資本剰余金	188,768	188,847
利益剰余金	1,301,431	1,308,722
株主資本合計	1,792,267	1,799,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,536	84,110
その他の包括利益累計額合計	57,536	84,110
純資産合計	1,849,804	1,883,827
負債純資産合計	2,742,283	2,794,444

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,468,578	1,783,001
売上原価	1,168,859	1,394,688
売上総利益	299,718	388,313
販売費及び一般管理費	174,351	194,571
営業利益	125,367	193,741
営業外収益		
受取利息	-	18
受取配当金	240	280
受取手数料	211	550
その他	47	142
営業外収益合計	498	991
営業外費用		
支払利息	809	614
支払保証料	611	-
債権売却損	240	164
その他	151	-
営業外費用合計	1,811	778
経常利益	124,054	193,954
税金等調整前四半期純利益	124,054	193,954
法人税等	43,055	57,113
四半期純利益	80,999	136,840
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,999	136,840



（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成27年10月1日 至平成27年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成28年10月1日 至平成28年12月31日）
四半期純利益	80,999	136,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,412	26,573
その他の包括利益合計	10,412	26,573
四半期包括利益	91,411	163,414
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,411	163,414
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。